

令和2年度 大宮学園

# 保幼小中一貫教育だより



あじさいにおはよう今日が動き出す

令和2年6月29日 大宮学園事務局

## 6月25日(木)、大宮学園「にこにこの日(人権の日)」

### 元気のよい「おはよう！」の挨拶で1日が始まりました

6月25日(木)、今年度初めての「大宮学園にこにこの日(人権の日)」。大宮学園の小中学校では元気のよい「おはよう！」のあいさつで1日が始まりました。

平成26年から始まった「小中合同のあいさつ運動」・・・、今年度は新型コロナウイルスの関係で、学校再開後初めての「にこにこの日」でした。

また、今回のあいさつ運動は、新型コロナウイルス感染予防のため、いつもは「ハイタッチ」であいさつを交わす「ハイタッチモーニング」のところ、「エアタッチ」であいさつを交わす「エアタッチモーニング」に切り替えました。あいさつの仕方は変わっても、児童会・生徒会合同で取り組む子どもたちの顔は充実感でいっぱいでした。

【大宮学園エアタッチモーニングの様子】



大宮第一小



大宮南小



大宮南小



大宮中



## 大宮学園「にこにこの日(人権の日)」について

大宮学園では、月1回、「にこにこの日(人権の日)」を設定しています。

保幼の5歳児、小中児童生徒、先生がすべて胸に「人権(缶)バッジ」を付け、その日一日、自分や仲間や周りの人の「人権」について考える日。

大宮中学校区保幼小中で「人権の日」が設定されたのは平成26年ですが、大宮学園児童会・生徒会合同会議の話し合いを経て「人権の日」を「毎月25日」に、呼び名を「にこにこの日」と定めたのは平成27年のことです。この時、それまで各校で実施していた「朝のあいさつ運動」を小中合同で実施するようになりました。あいさつ運動のネーミングも「おはようハイタッチ」、そして現在の「ハイタッチモーニング」と変化してきた経過があります。

## 人権マーク(人権バッジのデザイン)に込めた思い・・・

6月25日(木)、大宮学園の子どもたちが胸に付けていた「人権(缶)バッジ」ですが、このバッジのデザインは、平成26年、「大宮地域の人権マーク」を当時の小6児童と中学生から募集して選ばれた2作品の内の1作品のものです。(現在は、大宮学園のロゴマークでもあります。) 当時、大宮中2年生だったOさん。このデザインには次のような思いを込めたと記しています。



私は、5人の子どもをデザインしたマークを描きました。表情は5人とも違う風にして、一人ひとり違う個性をもっていることを表しました。みんなの体がつながっているのは、みんなで1つということを表現したからです。このデザインには、みんなそれぞれ違うけど、みんながつながっているという思いを込めました。

6月25日(木)・「にこにこの日」、大宮中学校でも始業と同時に生徒も先生も全員が「人権バッジ」を胸に付け、自分のこと、友だちのこと、自分を取り巻く周りの人のことなどを考えながら1日を過ごしました。月に1回の「にこにこの日」ですが、大宮学園の子どもたちが「人権」について考え、自分を振り返る機会をもつ・・・このことに大きな意義があると思います。

＜「にこにこの日」～大宮中の様子 生徒の左胸には人権(缶)バッジが付いています＞



## 1年生歓迎 チーム集会(大宮第一小)

6月11日(木)、大宮第一小学校では高学年(5・6年生)がリーダーとなり、「1年生歓迎 チーム集会(結団式)」を行いました。6つあるチームのそれぞれをさらにグループ分け(3G)するなど、新型コロナウイルス対策も取りながら臨んだ集会。「お互いに早く名前を覚えて、運動会や大縄大会など1年間一緒に頑張ろう。」と1年生に言葉をかけていました。＜チーム集会の様子＞



※事前準備もバッチリ! チーム集会を開くにあたっては、高学年(5・6年生)だけのグループ会議が数回持たれています。